

# 带状疱疹ワクチンについて

## 带状疱疹とは

体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に赤い発疹が出現する病気です。

子供の頃に水ぼうそう（水痘）にかかると、治った後もウイルスが体内に潜伏し、免疫力が落ちたことをきっかけに再活性化して発症します。

日本人成人の 90%以上は、このウイルスが体内に潜伏していて、特に 50 歳代から発症しやすくなり、80 歳までに 3 人に 1 人が発症すると言われています。

带状疱疹が頭部や顔面に出ると、目や耳の神経が障害され、めまい・耳鳴りといった合併症を起こします。重症化すると失明や難聴、顔面神経麻痺による顔のゆがみなど、重い後遺症が残る危険があります。

## 带状疱疹後神経痛（PHN）とは

また带状疱疹が治った後も、長期に痛みが残ることがあり、带状疱疹後神経痛（PHN）と呼ばれています。これは带状疱疹による神経の炎症が原因で、神経を傷つけてしまった結果、神経痛が残ってしまった状態です。

強い痛みのために、仕事に集中できない・眠れないなど、日常生活に支障をきたすことがあります。痛みを悩まされ、長期にわたり服薬等の治療が必要となる場合もあります。

50 歳以上で带状疱疹を発症した人のうち、約 2 割が带状疱疹後神経痛（PHN）になると言われています。

## 带状疱疹ワクチンの種類

水ぼうそうにかかったことのある人の带状疱疹予防として、2 種類のワクチンがあります。

- ・水痘ワクチン「ビケン」
- ・带状疱疹ワクチン「シングリックス」

どちらも 50 歳以上の人に接種が可能です。  
（任意接種となります）

	水痘ワクチン 「ピケン」	帯状疱疹ワクチン 「シングリックス」
ワクチンの種類	生ワクチン (ウイルス毒性を弱めたワクチンのため、わずかだが病原性あり)	不活化ワクチン (ウイルスの一部だけを利用したワクチンのため、感染性なし)
接種回数	1回	2回(2ヶ月後に2回目。 遅くとも6ヶ月後までに接種)
予防効果	50~60%	50歳以上 約97% 70歳以上 約90%
効果持続期間	5年程度 (必要に応じて追加接種を検討)	10年以上 (2022年10月時点では追加接種は必要ないと想定している)
副作用	接種部位の痛み、腫れ、発赤 (3日~1週間で消失)	接種部位の痛み、腫れ、発赤、発熱、 筋肉痛、全身倦怠感 (3日~1週間で消失)
料金	6,500円(税込)	23,000円(税込) / 回
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回で済む</li> <li>・値段が安い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫が低下している人にも接種できる</li> <li>・予防効果が高い</li> <li>・持続期間が長い</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫が低下している人には接種できない</li> <li>・持続期間が短い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回の接種が必要</li> <li>・値段が高い</li> </ul>